

# 岩手県社保協報告（北海道・東北ブロック事務局長会議）

2022年3月15日（火）

前回ブロック会議（12月6日）以降の主な取り組みと経過

## 1. 岩手県議会あて請願（12月議会）

- ①介護保険施設における補足給付見直しの中止を求める請願提出⇒継続審議  
制度の維持・継続のための見直しはやむを得ないという意見あり。
- ②精神保健医療福祉の改善に関する請願提出⇒採択

## 2. 国保改善の取り組み

【資料】

### ①12/10 第1回岩手県国保運営協議会

保険税水準の平準化（統一）に関する定義や時期等について市町村間で意見に隔たりがあることから、時間をかけて慎重に検討する。（意見としては、医療費指数反映係数 $\alpha$ を「 $\alpha = 1$ 」を「 $\alpha = 0$ 」とする対応に限定する意見、県内統一保険料率化とする意見、早期実施を求める意見や医療費の均てん化後とする意見、医療提供体制の市町村間格差の解消を前提とする意見等）

### ②33自治体に18歳までの子どもの均等割全額免除を求める要請書送付

21市町村で基金保有割合は5%以上。子どもの均等割全額免除は可能。

### ③自治体の改定状況

- ・子どもの均等割18歳まで免除実施自治体・・・宮古市、陸前高田市
- ・22年度国保引上げ（3/15時点）・・・釜石市、大船渡市
- ・医療給付費、保険税率の統一化などを理由にしている。

## 3. 22、23年度の後期高齢者医療保険料改定状況

【資料】

### ①均等割額40,900円（+2,900円）、所得割率7.36%（据え置き）

一人あたり保険料額は、現行47,300円から51,224円に3,924円増。

引上げ理由としては、現行保険料率の財政見通しで、22、23年度財源不足は38億円、24、25年度は48億円の不足が生じるため。引き上げにより12億円の増収となる。

### ②財政調整基金約18億円、県財政化安定基金8億円の活用と12億円の増収分で38億円の財政確保。

### ③後期高齢者医療広域連合との懇談申し入れと回答

- ・コロナ禍における高齢者の受診状況
- ・岩手県において2割引上げとなる高齢者の対象数見込
- ・2割引上げに対する広域連合としての対応
- ・R4,5年度の保険料について
- ・滞納世帯数と人数、差押件数と金額
- ・短期保険証、資格証明書の交付世帯数、人数
- ・特例軽減の見直しによる特徴点
- ・被災者の後期高齢者医療窓口負担の免除終了に係る対象者数と今後の対応

## 4. 地域医療を守る取り組み・地域医療を守る岩手県連絡会

### ①奥州・金ヶ崎地域

- ・住民説明会で市民から反対の声が続出し、市長は修正を図ると表明。3つの請願は継続審議。
- ・3/6 投票の奥州市長選結果は、大差で新人が当選。（倉成：40,625 票、小沢：13,760 票）
- ・3 月末で市内唯一の出産ができる産婦人科が出産を取りやめることから、市民の会は助産師に働きかけて院内助産所などの開設に向け動いている。

### ②釜石病院の医師不足問題

#### 《住民アンケートの取り組み》

医師不足と診療科の縮小、病院の再編統合へと進み、地域医療が後退している。地域医療の後退は誰もが安心して医療を受けられる状況にない。昨年 10 月に提出した「沿岸地域における県立病院の医師確保による機能の充実を求める請願」は、6 地域と 10 団体の請願者が名を連ねることとなり、満場一致で採択された。盛岡市内との医療格差は否定できないとの視点に立ち、沿岸地域にスポットをあて、現状を把握し「誰もがいつでもどこでも安心して受けられる医療」とは何かを共通の認識となるよう可視化する。

大槌町、山田町、釜石市を候補に 4 月中にポスティング。9 月までに集計

- ・記者会見、医療局長、病院長（県立大槌、釜石）への要請、懇談を行う。

## 5. 「いのち・暮らし・社会保障立て直せ」の取り組み

### ①1 月 26 日 記者会見

岩手医労連といわて労連が県庁内で記者会見。医療、介護の現場から訴え。新聞社 4 社、テレビ局 1 社が取材。

### ②2 月 25 日 全国一斉宣伝行動

県社保協、年金者組合、県春闘共闘などが県庁前でリレートーク。

## 6. 国の看護師、介護職員の処遇改善について

### ①介護職員処遇改善支援補助金について

現行の処遇改善加算を取得し、かつ令和 4 年 2 月分から賃金改善に取り組んでいる介護サービス事業所等を補助対象。現行の加算を取得している約 2,500 事業所のうち、2 月末現在で 1,169 事業所から報告書が提出されている。（県議会答弁より）

3%、9000 円とあるが実際は 3000 円から 6000 円。10 月からは介護報酬となるため、利用料や保険料に跳ね返る恐れがある。

### ②看護職員等改善支援補助金について

令和 2 年度 1 年間の救急搬送件数が 200 件以上で診療報酬の救急医療管理加算の算定を届出している病院、または三次救急を担う救命救急センターを有する病院としており、本県では 2 月時点で 31 病院が対象となっている。処遇改善の内容は、令和 4 年 2 月～9 月までの看護職員 1 人当たり月額 4000 円の賃金引き上げを行うもので、看護職員 6400 人分。そのうち、補助対象の県立病院は 15 病院。病院間の看護職員の業務応援が活発に行われていることなどを考慮して、すべての病院・地域診療センターに勤務する看護職員、2 月 1 日時点で 3460 人を対象に令和 4 年 2 月から 9 月まで月額 4000 円の特務手当を支給する。（県議会答弁より）

## 7. 介護保険制度改善の取り組み

5月に岩手の介護を良くする会がパネルディスカッション予定

## 8. 東日本大震災津波被災者の医療費・介護保険料等の免除・・・21年12月末で終了

・知事は「市町村に寄せられた相談内容や、無料低額診療事業を実施している医療機関の取り組みについて、市町村や社会福祉協議会、いわて被災者の支援センターなどの関係機関と共有するとともに、一層の連携を図りながら被災者一人一人の状況に応じた支援が行われるよう取り組みを進めてまいります。」(県議会答弁より)

・保険医協会は被災者実態調査を今年も行い、免除終了後の実態を把握する予定。

## 9. 地元選出参議院との懇談 (2/12)

2/12 岩手革新懇主催。野党共闘の木戸口英司(立民)

国保、75歳以上医療費2倍化、介護保険制度の抜本改善を中心に要請。

## 10. わたし☆まちフォーラム (2/26)

テーマ：コロナ禍における岩手の地域と暮らし

主催：NPO法人岩手地域総合研究所、25団体が共催

盛岡市保健所長の講演、4つの分科会に分かれコロナ禍における問題を出し合い議論。

「くらし・保健・福祉」分科会を担当し、医療・介護・保育分野からコロナ禍の状況と課題について討論した。

## 11. 年金裁判

2月22日、第4回控訴審が仙台高裁で開かれ、前回出された国側の書面に対して、原告側から書面陳述することを確認。次回は5月24日1時30分から。結審か。

## 12. 新型コロナウイルス感染症 (3/13 現在)

### ①検査結果判明数 (累計)

実施件数	199,453
検出件数	14,161

### ②入退院の状況

累計患者数	うち入院中		うち 宿泊療養中	うち 自宅療養中	うち 退院・療養解除	うち 死亡者	うち 入院等調整中
		うち重傷者					
14161	152	1	41	2253	11589	66	60

### ③ 新規感染者数 (人口10万人・直近1週間)

県全体	139.1人
盛岡市	186.6人

### ④ 病床使用率

39% (3/9 現在)
--------------

### ⑤ 特徴

保育・教育施設、学校、高齢者施設でのクラスターが増加

⑥ ワクチン 3 回目接種状況

全体 24.2% (3/9 現在)、65 歳以上 40% (2/28 現在)、高齢者施設 70% (2/28 現在)

13. その他

ロシア非難決議：県と 15 自治体